

# 業務および財産の状況に関する説明書

〔 平成22年4月1日から  
平成23年3月31日まで 〕

東京都港区麻布台一丁目7番2号  
神谷町サンケイビル10階

サクソバンクFX証券株式会社

## 概況および組織

### 1. 商号

サクソバンクFX証券株式会社

### 2. 登録年月日および登録番号

登録年月日・・・平成19年9月30日

登録番号・・・ 関東財務局長（金商）第239号

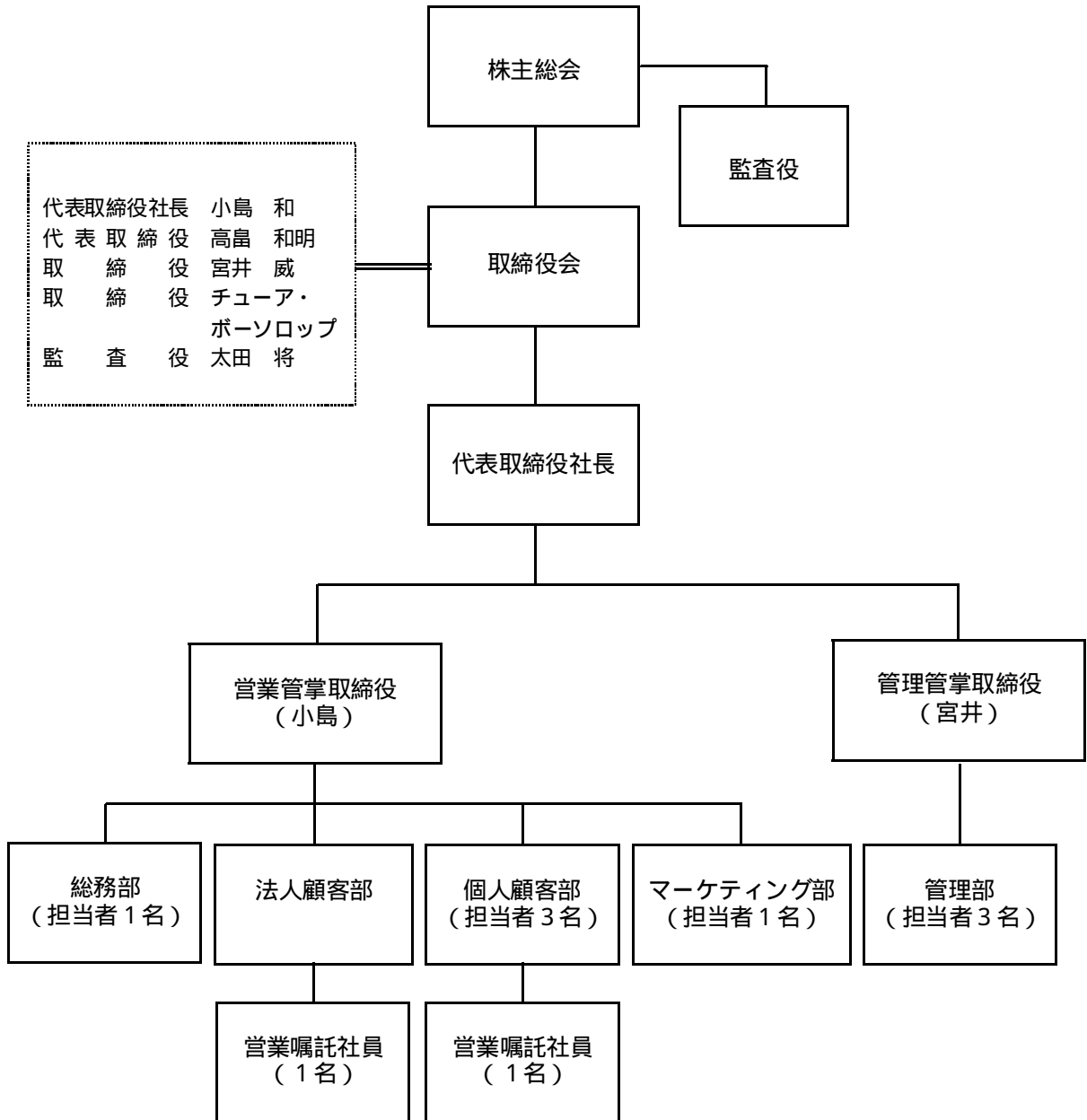
### 3. 沿革および経営の組織

#### 沿革

平成18年4月	三井物産フューチャーズ株式会社（三井物産100%子会社）全額出資にて会社設立。資本金5千万円
平成18年6月	資本金を9千万円に増資
平成18年10月	金融先物取引業法における金融先物取引業者の登録を完了
平成18年11月	社団法人金融先物取引業協会に加入 資本金を4億9千万円に増資 三井物産フューチャーズ株式会社の為替商品部を吸収し営業を開始
平成19年6月	三井物産フューチャーズ株式会社の全株式が三井物産株式会社からアストマックス株式会社へ譲渡 商号をアストマックスFX株式会社に変更
平成19年9月	金融商品取引法における第一種金融商品取引業者の登録を完了
平成19年10月	本店を渋谷区恵比寿に移転 SAXO BANK A/S をカバー取引先とするシステムを導入
平成20年8月	カバー取引先をIDO証券とする事業を分割
平成21年3月	SAXO BANK A/S をカバー取引先とする事業の全口座を解約 業務を休止
平成21年5月	資本金を2億円に減資
平成21年6月	SAXO BANK A/S の100%子会社となる 商号をサクソバンクFX株式会社に変更 営業を再開
平成21年7月	資本金を3億円に増資
平成21年10月	関東財務局よりその他業務の承認を取得

平成 22 年 6 月	日本証券業協会、日本投資者保護基金に加入
平成 22 年 7 月	株価指数 C F D、商品 C F D のサービスを開始
平成 22 年 12 月	商号をサクソバンク F X 証券株式会社に変更 個別株 C F D のサービスを開始
平成 23 年 1 月	経済産業省及び農林水産省より商品先物取引業認可取得 日本商品先物取引協会に加入

組織



#### 4. 株主等の状況

氏名又は名称	住所又は所在地	議決権数	割合
Saxo Bank A/S	Philip Heymans Alle 15 2900 Hellerup Denmark	11,800 個	100%
計 1 名		11,800 個	100%

#### 5. 役員等の状況

役職名	氏名又は名称	兼職の状況		
		商号	役職名	代表権の有無
代表取締役社長	小島 和			
代表取締役	高島 和明	Saxo Capital Markets PTE Ltd.	Chief Executive Officer	有
取締役管理部長	宮井 威			
取締役	チューア・ ボーンロップ	Saxo Bank A/S	Deputy CCO	無
監査役	太田 将	株式会社アセント パートナーズ	代表取締役	有

#### 6. 行っている業務の種類

第一種金融商品取引業である以下の業務。

- ・ 金融商品取引法第28条第1項第2号に掲げる行為に係る業務

(店頭外国為替証拠金取引)

(店頭外国為替オプション取引)

(店頭有価証券CFD取引)

- ・ 有価証券等管理業務

金融商品取引法第35条第2項第2号に掲げる金融商品取引業者の兼業業務

(店頭貴金属証拠金取引)

(店頭貴金属オプション取引)

(店頭商品C F D取引)

金融商品取引法第35条第2項第7号に掲げる金融商品取引業者の兼業業務

(顧客に対し他の事業者のあっせん又は紹介を行う業務)

金融商品取引法第35条第4項に掲げる金融商品取引業者のその他業務

(SAXO BANK A/Sが行う業務にかかる紹介及びサポート業務)

7. 本店その他の営業所又は事務所

名称	所在地	役員及び使用人
本店	東京都港区麻布台1-7-2 神谷町サンケイビル10F	15名
計1店		計15名

8. 政令で定める使用人の氏名

金融商品取引業に関し、法令等を遵守させるための指導に関する業務を統括する者

氏名	役職名
宮井 威	取締役管理部長

9. 他に行っている事業

なし

10. 加入している投資者保護基金、金融商品取引業協会及び金融先物取引所並びに対象事業者となっている認定投資者保護団体

日本証券業協会

社団法人 金融先物取引業協会

日本商品先物取引協会

日本投資者保護基金

## 業務の状況

### 1. 当期の業務概要

当社がサクソバンク・グループの一員となって2期目に当たる当期は、ビジネス拡大に向けて、事業基盤の整備に積極的に取り組んだ1年でした。その柱となったのがCFD（差金決済取引）です。前期の時点から体制構築に必要な人材の確保や関係団体への加入準備を進めていましたが、6月になって投資者保護基金に加入。7月には日本証券業協会への加入が承認され、これと同時に株価指数CFDと商品CFDを当社ラインアップに加えました。

さらに、12月には個別株やETFを原資産としたCFDの取扱いを始めました。この結果、合計7千銘柄以上のCFDが取引可能となり、CFDについては国内最大級の品揃えを誇る業容となりました。一方、同月にはひまわり証券株式会社より、個別株CFD口座の一部について譲渡を受けています。年末年始を挟んだ顧客資産の信託契約移管も支障なく、特段の混乱を見ずに譲渡は完了しました。これによって当社のCFD関係のビジネス規模が大きく拡大することとなった次第です。

このように、当期の営業施策ではCFD関係が大きな比重を占め、それにより有価証券関連商品を取り扱うこととなったことから、12月1日付けで商号をサクソバンクFX株式会社改めサクソバンクFX証券株式会社に変更しております。

一方、CFD関連以外でもいくつか注力したことがあります。一つは、従来からの主商品であったFX（外国為替証拠金取引）のサービス充実であり、11月にはお客様に一層の利便性を供するためオプション・ボードをリリースしました。また当期は、当社の知名度を高めるための活動も積極的に行っています。初めてテレビCMの放送に取り組んだほか、サクソバンクがサイクリングチームのスポンサーとなっていることから、ロードレース・イベントとのタイアップなども実施しました。

こうした企業活動はコンプライアンス最重視の姿勢のもとで行われたことは言うまでもありませんが、当期は新たに施行された規制も多い1年でした。8月からFXについてはいわゆる証拠金規制が施行され、最大レバレッジの上限が設けられるなどしました。弊社では取引システムのベンダーでもある親会社サクソバンクと早い時点から検討を重ね、お客様への周知も徹底をはかりました。その結果、施行にあたって特に混乱はなく、収益上も目立った影響は見られませんでした。

平成23年に入ると、金融商品取引法が改正施行され、同時に商品先物取引法が新たに施行されました。これにより、証券CFDおよび商品CFDにおいても証拠金規制等が導入されましたが、遺漏なく対応することができました。また、日本商品先物取引協会に加入し、第1種金融商品取引業者に加えて、商品先物取引業者としての体制も整うこととなりました。

3月に発生した大震災への対応については、コールセンターのある宮崎に業務の一部を移管するとともに、その他の役職員は在宅勤務とし、1週間あまりはBCPに則した緊急時体制をとりましたが、大きな支障をきたすことなく業務を遂行することができたと評価しています。

上記の企業活動の結果、売上高1,399百万円(前期比+110.7%)、営業利益567百万円(同+60.2%)、経常利益570百万円(同+61.0%)、純利益332百万円(同+61.2%)となりました。また、総資産2,670百万円(同+164.1%)、純資産848百万円(同+64.3%)と、資産規模も高い成長を見せています。前期が営業再開の初年度でゼロからの再出発であったため、比較の対象となる数字がもともと小さいという事情はありますが、一定の成果を残すことができた第2期でした。

## 2. 指標

	第3期 (平成21年3月31日)	第4期 (平成22年3月31日)	第5期 (平成23年3月31日)
営業収益	80,971,513円	663,802,461円	1,402,591,405円
純営業収益	80,971,513円	663,736,522円	1,402,591,405円
経常損益	223,553,576円	354,166,898円	570,371,737円
当期損益	198,594,565円	205,876,699円	332,012,341円
資本金の額	490,000,000円	300,000,000円	300,000,000円
発行済株式の総数	9,800株	11,800株	11,800株
受入手数料	80,971,513円	50,275,473円	135,991,607円
トレーディング損益	-	237,841,294円	902,871,170円
その他の収益	-	375,685,694円	363,728,628円
自己取引に係る損益	-	-	-
その他業務の状況	-	-	-
自己資本規制比率	231.0% (平成21年3月末)	552.4% (平成22年3月末)	338.0% (平成23年3月末)
使用人の総数	8名	8名	10名
金融商品取引業	8名	3名	6名

登録外務員数			
--------	--	--	--

## . 財産の状況

別紙計算書類等を参照されたい。

## . 管理の状況

### 1. 内部管理の状況

#### (1) 組織

役員	5名 うち海外居住非常勤役員2名、非常勤監査役1名となっております。なお海外居住非常勤役員2名はビデオ会議にて取締役会等に参加します。
職員	10名

当社は、総務部、法人部、個人顧客部、マーケティング部、管理部からなり、経理業務については外部委託しています。法人部は金融庁から承認を得た兼業業務（SAXO BANK A/Sのサービスを金融商品取引業者に紹介する等の業務）を行う部署で、個人顧客部が店頭デリバティブに関わるフロント業務（顧客からの問い合わせ等に対応する業務）を担当します。顧客の新規開拓業務は広告活動を主体としており、マーケティング部が担当します。以上の部署については、代表取締役が部門責任者となります。管理部は、コンプライアンスや内部統制に関わる業務全般を担当しており、取締役管理部長が部門責任者であり、政令で定める使用人となります。

#### (2) 内部管理体制

当社は、取締役管理部長が内部管理統括責任者の役割を担います。また、個人顧客部に営業責任者を1名、管理部に内部管理責任者を2名配置し、法令遵守・内部統制を確保するための管理体制を構築しております。

#### (3) 電算システム、事務管理、担当者の担当部署及び氏名等

法定帳簿・報告書等の作成、管理

担当：管理部（担当者数：2）

ディスクロージャー

担当：管理部（担当者数：2）

顧客資産の分別保管等の状況

担当：管理部（担当者数：2）

リスク管理

算定担当：1名（管理部）

自己資本規制比率の日々の算定は、管理部の算定担当者が自社作成のスプレッドシートによって行っています。

検証担当：1名（管理部）

上記担当者が算定した日々の比率については、管理部の別の担当者が検証を行っています。この検証が行われた後、計算シートは管理部長に回付され、最終確認を行った後、役員等に電子メールで送信されます。

なお、当社は会計・経理業務を外部業者に委託しており、金融庁へ提出する月末時点の比率については、業者において提出用シートを作成し、これを上記算定担当者と管理部長が確認する態勢としています。業者には計算方法についての指示書を交付しており、業者はこれにしたがって計算を行っています。指示書は管理部長が作成し、法令等の改正に伴う改定も管理部長が責を追います。指示書は社内でも共有され、比率の計算に関する共通認識のベースとなっています。

電算システム管理

#### 1．取引システム

委託先：SAXO BANK A/S

担当：マーケティング部、個人顧客部（担当者数：2）

当社が顧客に提供している取引システムと関連するバックオフィス・システムは、親会社のSAXO BANK A/Sが管理しています。サーバーセンターはデンマーク国内の2箇所に設置され、24時間態勢で有人管理され、大規模災害等への対策も十分に施されています。

#### （4）会計・経理関係

当社は会計・経理関係の業務を外部業者に委託しています。

担当：総務部（担当者数：1）

#### （5）社内ネットワーク

担当：マーケティング部（担当者数：1）

当社では、パソコンの設定や社内ネットワーク関係は全て親会社のSAXO BANK A/SのIT部門が、グループ全体の方針に従って管理しております。

#### （6）ホームページ

担当：マーケティング部（担当者数：1）

当社のホームページはホスティング・サービスを利用して運営しております。

#### （7）売買管理・取引審査

担当：管理部（担当者数：2名）

売買管理

売買については、カバー取引先（SAXO BANK A/S）より毎営業日ごとに送付される取引データ（EOD ファイル）を基に管理しています。当社では、営業マンを経由した売買はなく、売買の勧誘を行うこともないため、両建てや途転といった手数料稼ぎと見られる売買は基本的にありませんが、日々のデータで不自然な売買がないかチ

チェックしております。また、「不正取引防止マニュアル」「名義相違入金対応マニュアル」を作成し、不正取引を防止するための対策を講じています。

#### 審査

当社では、個人の投資家については全てオンラインでの申込み、法人については書面での申込みとしており、申込みがあれば管理部にて審査を行っています。まず、1名の担当者が規程に従って審査を行い、次にもう1名がそれを検証します。その結果を管理部長に回付し、照査を経て口座開設処理を行います。

### (8) 顧客管理

担当：管理部（担当者数：2名）

#### 顧客情報の管理

顧客情報は、個人についてはデータで管理しています。口座開設申込み時に受け取った個人情報や顧客データベース・システムに蓄積し、「個人データの安全管理に関わる取扱規程」に従って管理しています。本人確認書類は画像データですので、管理部の担当者のPC内で管理し、定期的にバックアップをとっています。法人顧客については紙の書類となりますので、施錠可能なキャビネットに保管し、管理部長と管理部員1名がこの鍵を管理しています。なお、過去の古い書類については、倉庫業者に委託して管理しています。

#### 適合性の原則

当社では、個人の投資家については全てオンラインでの申込み、法人については書面での申込みとしており、申込みがあれば次の手順で審査を行っています。

- 1) 申込みと本人確認書類がそろった時点で、管理部の1名の担当者が規程に従って審査を行います。
- 2) 次にもう1名がそれを検証します。
- 3) その結果を管理部長に回付し、照査を経て口座開設処理を行います。

#### 顧客管理方法

当社は、主に当社のホームページおよびインターネットや雑誌等の媒体を通じて取り扱い商品を紹介し、投資家の自発的なアプローチを待つかたちで新規顧客の開拓を行っています。口座開設も法人を除いてオンラインによる申込みに限定しています。営業外務員は問い合わせ等に対応する業務に特化しており、口座開設・売買ともに個別に勧誘を行うような方法は採用していません。また、営業部門と管理部門の席配置が近接しており、常にコミュニケーションを取りながら業務を行っています。こうした態勢で、法令順守の徹底をはかっています。

なお、社員外務員とは別に、営業嘱託社員と呼ぶ歩合制外務員1名と契約しており、当該外務員については、「営業嘱託社員管理規程」に基づき管理しています。具体的には毎営業日ごとに報告書の提出を義務付けるとともに、週一回は管理者との面談を実施しています。

なお、そのほかに法令遵守として以下の対策を実施しています。

#### 1) 過度の投機的取引の防止

当社では、口座開設時に顧客から金融資産の額を申告していただき、証拠金の最大受入れ金額をその50%までとしていますので、これを超過していないか週

一回のペースで確認しております。超過している場合は、主にメールでアラーム通知を行っています。

## 2) ロスカットルール

当社では、以前より自動ロスカット制度を導入しています。具体的には相場の変動等により証拠金使用率が個人は100%、法人は150%を超えると、取引システムが自動的にお客様の建玉を全て成行注文にて決済します。

## 3) その他

売買については、カバー取引先より毎営業日ごとに送付される取引データ（EODファイル）を基に管理しています。当社では、営業マンを経由した売買はなく、売買の勧誘を行うこともないため、両建てや途転といった手数料稼ぎと見られる売買は基本的にありませんが、日々のデータで不自然な売買がないかチェックしております。また、不正取引防止マニュアル、名義相違入金対応マニュアルを作成し、不正取引を防止するための対策を講じています。

## (9) 広告審査

担当：管理部（担当者数：1名）

広告はマーケティング部が中心となって企画し、「広告等承認申請書」を管理部にあげます。管理部では管理部長が審査を行い、パスすれば起案部署に通知され、申請書は管理部で保管します。

## (10) 一般顧客からの照会窓口

担当：個人顧客部（担当者数：2名）

営業日の午前9時～午後6時までには個人顧客部で対応しています。それ以外の時間帯は、外部業者に委託したコールセンターで対応しています。

なお、午後6時から翌午前9時までの業務を外部に委託している時間帯では、業務を以下の範囲に限定しており、新規口座の開設方法や取扱い商品の説明など外務員行為に該当する可能性があるものについては除外しています。

## (11) 苦情・トラブル処理

担当：管理部（担当者数：2名）

### 1) 担当部署、処理方法

顧客から電話やメールで苦情が入った場合、まずは営業担当者が対応します。そこで解決できない場合は、管理部の担当者が対応します。その段階でも解決されない場合は、取締役管理部長が対応します。管理部長は、必要であれば弁護士に相談し、円満な解決を図ります。

### 2) 報告体制

苦情等があった場合、受付けた者は適切な方法（口頭、メール等）で遅滞無く管理部に報告し、報告を受けた管理部員は遅滞なく管理部長に報告します。その後、苦情等の対処が完了すると「クレーム記録」を管理部に提出しますが、1週間を超えて完了していない場合は、途中経過を記載して提出します。管理部は直ちに回覧し、回覧後は管理部が責任をもって保管します。

また、当社は指定紛争解決機関である証券・金融商品あっせん相談センター (FINMAC)と契約を締結しており、必要に応じて当センターによる調停を利用し、紛争の解決に向けて最善の体制を構築しております。

(12) 役職員の研修等

担当：管理部（担当者数：2名）

法令遵守等に関する研修は管理部が担当し、現行態勢下では月1回程度の集合研修を実施しています。平成23年度についても、管理部により月1回の集合研修を実施する計画です。内容は以下の中から適宜に選択して行います。

- ・ 日常の業務に関連の深い法令や監督指針等の解説
- ・ 当社規程の説明
- ・ 法令等の改正案の解説
- ・ 各種セミナー等の内容報告

(13) 内部監査

担当：管理部（担当者数：2名）

当社では、年1回程度の頻度で親会社のSAXO BANK A/Sによる監査を受けており、内部監査の一貫と位置づけています。その他、業務全体の監査、テーマ別の監査を実施しています。また、平成23年度については監査役による監査を行う予定です。

(14) 弊害防止措置等

当社では、有価証券CFDを取り扱っておりますが、その他当社が扱っている店頭デリバティブ業務と同一種別ですので、特段の弊害防止措置は構築しておりません。また、SAXO BANK A/Sはデンマーク金融庁に登録した銀行ですが、商業銀行業務等を行っておらず、店頭デリバティブ取引に特化しています。そのため、やはり特段の弊害防止措置は構築しておりません。

## 2. 区分管理・分別管理の状況

### (1) 顧客区分管理信託・顧客分別金信託

外国為替証拠金取引、外国為替オプション取引については、それぞれ顧客の取引口座を分け、各口座ごとに区分管理必要額を計算します。そのうえで、それぞれの取引について同一契約の信託契約で、区分管理を行います。

また、貴金属証拠金取引、貴金属オプション取引、CFD取引についても同様に計算し、それぞれの取引について同一契約の別の信託契約で、分別管理を行います。

受託会社	日証金信託銀行株式会社
受益者代理人	社外弁護士及び弊社取締役管理部長
差替計算基準日	毎営業日
差替日	翌々営業日
信託の種類	特定運用金銭信託
分別金必要額計算システム	自社内作成のスプレッドシート

(2) 顧客分別金信託の状況

(単位：百万円)

円)

	平成 22 年 3 月 31 日 現在の金額	平成 23 年 3 月 31 日 現在の金額
直近差替計算基準日の顧客分別金 必要額	322	363
顧客分別金信託額	360	416
期末日現在の顧客分別金必要額	326	371

(3) 金融商品取引法第 43 条の 3 の規定に基づく区分管理の状況

法第 43 条の 3 第 1 項の規定に基づく区分管理の状況

(単位：百万円)

円)

	管理の方法	当期末残高	前期末残高	内訳
金銭	預金	0	0	
	金銭信託	1,211	326	日証金信託銀行 (当期末残高 1,310)
有価証券等	有価証券	0	0	

法第 43 条の 3 第 2 項の規定に基づく区分管理の状況

該当事項はありません。

(4) 分別保管等に係る内部管理体制

区 分	所 管 部 署	責 任 者	担当者数
有価証券の管理	該当なし		
顧客分別金(算定、計算)	管理部	取締役管理部長	2名
検査部門	監査役、公認会計士事務所		

# 第 5 期

(平成22年4月1日 - 平成23年3月31日)

# 報 告 書

会 社 概 要
事 業 報 告
計 算 書 類 等
1. 貸 借 対 照 表
2. 損 益 計 算 書
3. 株 主 資 本 等 変 動 計 算 書
4. 個 別 注 記 表
5. 付 属 明 細 書
監 査 報 告 書 謄 本

サクソバンクFX証券株式会社



THE SPECIALIST IN  
TRADING & INVESTMENT

# 会 社 概 要

(平成23年3月31日時点)

商 号	サクソバンク F X 証券株式会社 英語表記 : Saxo Bank FX Securities K.K.
所 在 地	東京都港区麻布台一丁目7番2号神谷町サンケイビル10階
代 表 者	代表取締役社長 小島 和
設 立	平成18年4月26日
資 本 金	3億円
発行済み株式総数	11,800株
株 主	SAXO BANK A/S (本社 : デンマーク王国)
事 業 内 容	通貨関連デリバティブ取引の店頭取引 有価証券デリバティブ取引の店頭取引 商品デリバティブ取引の店頭取引
定 款 目 的	金融商品取引法に規定する金融商品取引業務 商品先物取引法に規定する商品先物取引業 前各号に付帯する一切の業務
登 録	金融庁登録 第一種金融商品取引業者 登録番号 : 関東財務局長 (金商) 第239号
許 可	経済産業省および農林水産省許可 商品先物取引業者
加 入 団 体	社団法人金融先物取引業協会 日本証券業協会 日本投資者保護基金 日本商品先物取引協会
指定紛争解決機関	特定非営利活動法人 証券・金融商品あっせん相談センター
主要取引金融機関	三井住友銀行
ウ ェ ブ サ イ ト	<a href="http://www.saxobank.co.jp">http://www.saxobank.co.jp</a>
電 子 メ ー ル	<a href="mailto:info@saxobank.co.jp">info@saxobank.co.jp</a>
電 話 番 号	03-5545-6351

# 計 算 書 類 等

---

- 1 . 貸借対照表
- 2 . 損益計算書
- 3 . 株主資本等変動計算書
- 4 . 個別注記表
- 5 . 付属明細書

# 事業報告

(平成22年4月1日 - 平成23年3月31日)

## 1. 事業の経過と成果

当社がサクソバンク・グループの一員となって2期目に当る当期は、ビジネス拡大に向けて、事業基盤の整備に積極的に取り組んだ1年でした。その柱となったのがCFD（差金決済取引）です。前期の時点から体制構築に必要な人材の確保や関係団体への加入準備を進めていましたが、6月になって投資者保護基金に加入。7月には日本証券業協会への加入が承認され、これと同時に株価指数CFDと商品CFDを当社ラインアップに加えしました。

さらに、12月には個別株やETFを原資産としたCFDの取扱いを始めました。この結果、合計7千銘柄以上のCFDが取引可能となり、CFDについては国内最大級の品揃えを誇る業容となりました。一方、同月にはひまわり証券株式会社より、個別株CFD口座の一部について譲渡を受けています。年末年始を挟んだ顧客資産の信託契約移管も支障なく、特段の混乱を見ずに譲渡は完了しました。これによって当社のCFD関係のビジネス規模が大きく拡大することとなった次第です。

このように、当期の営業施策ではCFD関係が大きな比重を占め、それにより有価証券関連商品を取り扱うこととなったことから、12月1日付けで商号をサクソバンクFX株式会社改めサクソバンクFX証券株式会社に変更しております。

一方、CFD関連以外でもいくつか注力したことがあります。一つは、従来からの主商品であったFX（外国為替証拠金取引）のサービス充実であり、11月にはお客様に一層の利便性を供するためオプション・ボードをリリースしました。また当期は、当社の知名度を高めるための活動も積極的に行っています。初めてテレビCMの放送に取り組んだほか、サクソバンクがサイクリングチームのスポンサーとなっていることから、ロードレース・イベントとのタイアップなども実施しました。

こうした企業活動はコンプライアンス最重視の姿勢のもとで行われたことは言うまでもありませんが、当期は新たに施行された規制も多い1年でした。8月からFXについてはいわゆる証拠金規制が施行され、最大レバレッジの上限が設けられるなどしました。弊社では取引システムのベンダーでもある親会社サクソバンクと早い時点から検討を重ね、お客

様への周知も徹底をはかりました。その結果、施行にあたって特に混乱はなく、収益上も目立った影響は見られませんでした。

平成 23 年に入ると、金融商品取引法が改正施行され、同時に商品先物取引法が新たに施行されました。これにより、証券 C F D および商品 C F D においても証拠金規制等が導入されましたが、遺漏なく対応することができました。また、日本商品先物取引協会に加入し、第 1 種金融商品取引業者に加えて、商品先物取引業者としての体制も整うこととなりました。

3 月に発生した大震災への対応については、コールセンターのある宮崎に業務の一部を移管するとともに、その他の役職員は在宅勤務とし、1 週間あまりは B C P に則した緊急時体制をとりましたが、大きな支障をきたすことなく業務を遂行することができたと評価しています。

上記の企業活動の結果、売上高 1,399 百万円（前期比+110.7%）、営業利益 567 百万円（同+60.2%）、経常利益 570 百万円（同+61.0%）、純利益 332 百万円（同+61.2%）となりました。また、総資産 2,670 百万円（同+164.1%）、純資産 848 百万円（同+64.3%）と、資産規模も高い成長を見せています。前期が営業再開の初年度でゼロからの再出発であったため、比較の対象となる数字がもともと小さいという事情はありますが、一定の成果を残すことができた第 2 期でした。

## 2. 業務の適正を確保するための体制

### (1) 取締役および使用人の職務の執行が法令および定款に適合することを確保するための体制

当社はコンプライアンスを業務執行の最重要命題と認識し、基本的な行動の指針として「役職員行動規範」を制定しています。全役職員は、これにもとづいて法令や社会規範および社内規則を遵守し、倫理に則した活動を行います。また、業務に関するより具体的な指針・規則として「倫理コード」「従業員服務規程」を定めています。

それらの遵守徹底を推進する方策としては、まずコンプライアンス委員会の設置をあげることができます。本委員会は、コンプライアンス意識の徹底・向上を進めるための教育活動を行うとともに、問題や課題を早期に発見して適切な対処を行えるよう、毎月1回定例の会合を行っています。さらには、委員長の招集により随時開催する体制を敷いています。

万が一コンプライアンス違反が発生した場合は、経営陣自ら問題解決にあたり、原因追及、再発防止に努めるとともに、必要に応じてコンプライアンス懲戒委員会に諮問し、責任を明確にした上で公正妥当な処分を行います。

上記のほか、管理部によるコンプライアンス関係の研修も実施されています。

### (2) 取締役の職務の執行に係る情報の保存および管理に関する体制

取締役の職務の執行に係る以下の情報については、文書または電磁的記録により適切に保存および管理を行っています。

株主総会議事録、取締役会議事録それらの関連資料

各種委員会その他重要会議の議事の経過およびその関連資料

代表取締役を決裁者とする稟議書およびその他重要な社内申請書類

会計帳簿、計算書類、重要な契約書、官公庁その他公的機関に提出した書類の写し

等その他重要文書

### (3) 損失の危険の管理に関する規程その他の体制

損失の危険（リスク）の管理については、「リスク管理に係る基本方針」を定めるとともに、リスクの種類に応じて対応を定めています。

財務上のリスクについては、金融商品取引法の規定ならびに「リスク管理規程」に基づき、毎営業日において把握しています。また、事務上のリスクについては、マニュアルを整備してコントロール機能を明確化しています。システムリスクについては「システムリスク管理規程」を定め、対策および問題発生時の対応を明確化しています。大規

模災害等のリスクについては、「事業継続に係る対策規程」を制定し、被害を最小限に食い止め利害関係者への影響を最小化するための方策を明確にしています。

(4) 取締役の職務の執行が効率的に行われることを確保するための体制

当社は取締役会を設け、定時取締役会を毎月1回開催し、臨時取締役会を必要に応じて随時開催しています。取締役会は、代表取締役および取締役の職務執行が効率的かつ適正に行われているかの監督を行います。

また、取締役会の意思決定機能を補完する制度として、稟議制度を構築しています。合議制による意思決定のもとでその迅速化を図るため、「稟議規程」に基づいて運営され、取締役会付議事項に次ぐ重要な決議事項の決済を行っています。

## 貸借対照表

平成23年3月31日現在

サクソバンクFX証券株式会社

(単位: 円)

資産の部		負債の部	
科 目	金 額	科 目	金 額
【流動資産】	【 2,603,663,106 】	【流動負債】	【 1,821,831,421 】
現金預金	673,916,137	その他未払金	13,134,682
金銭信託	1,726,973,743	営業未払金	39,234,387
営業未収入金	5,636,376	関係会社未払金	23,029,498
カバー取引相手方差金	△ 10,163,727	未払費用	3,353,106
関係会社未収入金	11,037,748	未払法人税等	166,350,200
前払費用	22,212,993	預り金	3,394,630
差入保証金	153,563,974	預り顧客証拠金	1,583,488,645
未収還付消費税	2,556,592	仮受金	10,000
繰延税金資産	12,520,121	外国為替取引顧客差金	△ 10,163,727
預託金	2,000,000	負債の部合計	1,821,831,421
仮払金	3,393,770	純資産の部	
未収収益	15,379	【株主資本】	【 847,766,309 】
【固定資産】	【 65,934,624 】	(資本金)	( 300,000,000 )
(有形固定資産)	( 31,952,963 )	(利益剰余金)	( 547,766,309 )
内部造作	22,059,652	その他利益剰余金	547,766,309
器具備品	24,624,548	繰越利益剰余金	547,766,309
減価償却累計額	△ 14,731,237	純資産の部合計	847,766,309
(無形固定資産)	( 2,080,035 )		
ソフトウェア	1,796,485		
商標権	283,550		
(投資その他の資産)	( 31,901,626 )		
長期前払費用	3,413,001		
敷金等	26,628,336		
繰延税金資産	1,760,289		
長期差入保証金	100,000		
資産の部合計	2,669,597,730	負債・純資産の部合計	2,669,597,730

## 損益計算書

自 平成22年4月1日 至平成23年3月31日

サクソバンクFX証券株式会社

(単位: 円)

科 目	金 額	
売上高		1,398,871,352
売上総利益		1,398,871,352
販売費及び一般管理費		832,130,549
営業利益		566,740,803
営業外収益		
受取利息	3,720,053	
雑収入	261,926	3,981,979
営業外費用		
雑損失	351,045	351,045
経常利益		570,371,737
税引前当期純利益		570,371,737
法人税、住民税及び事業税	238,248,091	
法人税等調整額	111,305	238,359,396
当期純利益		332,012,341

# 株主資本等変動計算書

自 平成22年4月1日 至平成23年3月31日

サクソバンクFX証券株式会社

(単位: 円)

	株主資本				純資産合計
	資本金	利益剰余金		株主資本合計	
		その他利益剰余金	利益剰余金 合計		
前期末残高	300,000,000	215,753,968	215,753,968	515,753,968	515,753,968
当期変動額					
当期純利益		332,012,341	332,012,341	332,012,341	332,012,341
当期変動額合計	-	332,012,341	332,012,341	332,012,341	332,012,341
当期末残高	300,000,000	547,766,309	547,766,309	847,766,309	847,766,309

## 個別注記表

### 1. 重要な会計方針に係る事項に関する注記

#### (1) デリバティブの評価基準及び評価方法

時価法を採用しております。

#### (2) 固定資産の減価償却方法

- ・有形固定資産・・・定率法によっております。
- ・無形固定資産・・・定額法（自社利用のソフトウェアは社内における利用可能期間（5年）に基づく定額法）によっております。

#### (3) 収益の計上基準

買付け又は売付けの取引成立時、転売又は買戻し及び受渡しによる決済時にそれぞれ手数料収益、またはスプレッド収益の発生を認識しております。

#### (4) 消費税等の会計処理

消費税及び地方消費税の会計処理は税抜方式によっております。

### 2. 株主資本等変動計算書に関する注記

#### (1) 当該事業年度の末日における発行済株式の数

当該事業年度の末日における発行済株式の数は、11,800株であります。

## 有形固定資産及び無形固定資産の明細

自平成22年4月1日 至平成23年3月31日

サクソバンク FX 証券株式会社

(単位：円)

区分	資産の種類	期首帳簿価額	当期増加額	当期減少額	当期償却額	期末帳簿価額	償却累計額	期末取得原価
有形固定資産	内部造作	14,437,667	5,833,000	-	2,325,029	17,945,638	4,114,014	22,059,652
	器具備品	16,503,482	2,832,280	-	5,328,437	14,007,325	10,617,223	24,624,548
	計	30,941,149	8,665,280	-	7,653,466	31,952,963	14,731,237	46,684,200
無形固定資産	ソフトウェア	2,070,458	172,500	-	446,473	1,796,485		
	商標権	315,350	-	-	31,800	283,550		
	計	2,385,808	172,500	-	478,273	2,080,035		

(注) 当期増減の主な内容

以下の資産の主な増加は、オフィスの増床に伴うものである。

(1) 内部造作・・・5,833,000円

(2) 器具備品・・・2,472,280円

## 販売費及び一般管理費の明細

自平成22年4月1日 至平成23年3月31日

サクソバンクF証券株式会社

(単位:円)

科目	金額	摘要
役員報酬	37,298,484	
給料手当	60,871,812	
賞与	20,589,726	
法定福利費	12,746,126	
福利厚生費	754,349	
報酬	25,488,518	
R関連費用	276,000	
業務委託料	3,001,821	
図書調査費	730,571	
事務用品費	3,163,166	
旅費交通費	5,174,589	
通信費	10,786,376	
接待交際費	2,519,084	
会議費	133,548	
広告宣伝費	255,114,672	
水道光熱費	1,155,357	
地代家賃	22,929,570	
事務所維持費	1,076,010	
修繕費	100,000	
保険料	5,408,387	
教育訓練費	1,914,605	
電算機費	11,268,116	
租税公課	4,488,500	
諸会費	8,150,465	
減価償却費	8,131,739	
支払手数料	322,958,342	
銀行手数料	5,900,616	
合計	832,130,549	

# 監査報告書

監査役は、平成22年4月1日から平成23年3月31日までの第5期事業年度に係る計算書類及びその附属明細書を監査いたしました。その方法及び結果につき以下のとおり報告いたします。

## 1. 監査の方法及びその内容

監査役は、取締役及び使用人等と意思疎通を図り、情報の収集及び監査の環境の整備に努めるとともに、取締役会その他重要な会議に出席し、取締役及び使用人等からその職務の執行状況について報告を受け、必要に応じて説明を求め、重要な決裁書類等を閲覧し、会社の業務および財産の状況を調査いたしました。

以上の方法に基づき、当該事業年度に係る事業報告及びその附属明細書について検討いたしました。

さらに、会計帳簿またはこれに関する資料の調査を行い、当該事業年度に係る計算書類（貸借対照表、損益計算書、株主資本等変動計算書及び個別注記表）及びその附属明細書について検討いたしました。

## 2. 監査の結果

### (1) 事業報告等の監査結果

- ① 事業報告及びその附属明細書は、法令及び定款に従い、会社の状況を正しく示しているものと認めます。
- ② 取締役の職務の遂行に関する不正の行為又は法令もしくは定款に違反する重大な事実は認められません。

### (2) 計算書類及びその附属明細書の監査結果

計算書類及びその附属明細書は、会社の財産及び損益の状況をすべての重要な点において適正に表示しているものと認めます。

平成23年5月10日

サクソバンクFX証券株式会社

監査役 太田 将



以上

# 第 4 期

(平成21年4月1日 - 平成22年3月31日)

# 報 告 書

会 社 概 要  
事 業 報 告  
貸 借 対 照 表  
損 益 計 算 書  
株 主 資 本 等 変 動 計 算 書  
個 別 注 記 表  
付 属 明 細 書  
監 査 報 告 書 謄 本

サクソバンクFX株式会社



THE SPECIALIST IN  
TRADING & INVESTMENT



# 事業報告

(平成21年4月1日 - 平成22年3月31日)

## 1. 事業の経過と成果

当期は当社にとって変革と再生の1年となりました。まず期首は営業を休止した状態でのスタートでした。これは、当社の全株式がアストマックス・プロップ・トレーダーズ株式会社から SAXO BANK A/S (本社デンマーク) へ譲渡されることが前期の段階で内定していたことによります。そのため、前期末の平成21年3月25日には顧客資産の返還手続き及び解約を完了し、28日から営業を休止しました。その後、デンマーク金融庁の認可を待つ状態が続きましたが、6月下旬ようやく認可がおりたことを受け、25日には SAXO BANK A/S による弊社の買収が完了しました。そして、経営陣が刷新され、翌26日から営業を再開する運びとなった次第です。

このような事情から、当期の実質的な営業活動期間は7月からの9ヶ月間であり、また、顧客数や預り資産はゼロという状態からの再開でもありました。ただ、カバー取引先である SAXO BANK A/S との収益分配に関する契約が変更されたことや、大口顧客の貢献もあって、主業務である FX (外国為替証拠金取引) に係る営業収入は288,116千円となりました。さらに、当期は FX 以外にも Saxo Bank Japan 株式会社から吸収した業務からの収益が加わっています。これは、SAXO BANK A/S が提供するサービス等を日本の金融商品取引業者に紹介して対価を得る業務ですが、兼業に関する承認申請を8月26日付で関東財務局に提出し、10月28日に承認を得ております。この兼業業務での営業収入が375,504千円あったことから、当社全体としての営業収入は663,620千円となりました。

一方、経費については販売費及び一般管理費が309,566千円と、前期に比べて若干ながら増加しています。その結果、営業利益は354,054千円、経常利益は354,166千円となりました。当期はリスタート後の1期目でしたが、概ね当初の見込みに即した結果であったと評価しております。

平成23年3月期については、有価証券 CFD の導入を予定しており、業務態勢の構築とビジネス規模の拡大が最大の課題となります。ただ、いたずらに組織を大きくして固定費が上昇することを避けるため、IT ソリューションの積極的な活用も重要と考えています。営業収入は807,184千円、営業利益は282,758千円、経常利益283,058千円を見込んでいます。また、将来的には取引高の増大に伴って取引先リスクや基礎リスクの上昇が予想されますが、当期末で552.4%だった自己資本規制比率を今後も高水準で維持するため、自己資本の増強が重要な課題になってくると認識しています。

## 2. 業務の適正を確保するための体制

### (1) 取締役および使用人の職務の執行が法令および定款に適合することを確保するための体制

当社はコンプライアンスを業務執行の最重要命題と認識し、基本的な行動の指針として「役職員行動規範」を制定しています。全役職員は、これにもとづいて法令や社会規範および社内規則を遵守し、倫理的な活動を行います。また、業務に関するより具体的な指針・規則として「倫理コード」「従業員服務規程」を定めています。

それらの遵守徹底を推進する方策としては、まずコンプライアンス委員会の設置をあげることができます。本委員会は、コンプライアンス意識の徹底・向上を進めるための教育活動を行うとともに、問題や課題を早期に発見して適切な対処を行えるよう、毎月1回定例の会合を行っています。さらには、委員長の招集により随時開催する体制を敷いています。

万が一コンプライアンス違反が発生した場合は、経営陣自ら問題解決にあたり、原因追及、再発防止に努めるとともに、必要に応じてコンプライアンス懲戒委員会に諮問し、責任を明確にした上で公正妥当な処分を行います。

上記のほか、管理部によるコンプライアンス関係の研修も実施されています。

### (2) 取締役の職務の執行に係る情報の保存および管理に関する体制

取締役の職務の執行に係る以下の情報については、文書または電磁的記録により適切に保存および管理を行っています。

株主総会議事録、取締役会議事録それらの関連資料

各種委員会その他重要会議の議事の経過およびその関連資料

代表取締役を決裁者とする稟議書およびその他重要な社内申請書類

会計帳簿、計算書類、重要な契約書、官公庁その他公的機関に提出した書類の写し

等その他重要文書

### (3) 損失の危険の管理に関する規程その他の体制

損失の危険（リスク）の管理については、「リスク管理に係る基本方針」を定めるとともに、リスクの種類に応じて対応を定めています。

財務上のリスクについては、金融商品取引法の規定ならびに「リスク管理規程」に基づき、毎営業日において把握しています。また、事務上のリスクについては、マニュアルを整備してコントロール機能を明確化しています。システムリスクについては「システムリスク管理規程」を定め、対策および問題発生時の対応を明確化しています。大規

模災害等のリスクについては、「事業継続に係る対策規程」を制定し、被害を最小限に食い止め利害関係者への影響を最小化するための方策を明確にしています。

(4) 取締役の職務の執行が効率的に行われることを確保するための体制

当社は取締役会を設け、定時取締役会を毎月1回開催し、臨時取締役会を必要に応じて随時開催しています。取締役会は、代表取締役および取締役の職務執行が効率的かつ適正に行われているかの監督を行います。

また、取締役会の意思決定機能を補完する制度として、稟議制度を構築しています。合議制による意思決定のもとでその迅速化を図るため、「稟議規程」に基づいて運営され、取締役会付議事項に次ぐ重要な決議事項の決済を行っています。

# 計 算 書 類 等

---

- 1 . 貸借対照表
- 2 . 損益計算書
- 3 . 株主資本等変動計算書
- 4 . 個別注記表
- 5 . 付属明細書

# 事業報告

(平成21年4月1日 - 平成22年3月31日)

## 1. 事業の経過と成果

当期は当社にとって変革と再生の1年となりました。まず期首は営業を休止した状態でのスタートでした。これは、当社の全株式がアストマックス・プロップ・トレーダーズ株式会社から SAXO BANK A/S (本社デンマーク) へ譲渡されることが前期の段階で内定していたことによります。そのため、前期末の平成21年3月25日には顧客資産の返還手続き及び解約を完了し、28日から営業を休止しました。その後、デンマーク金融庁の認可を待つ状態が続きましたが、6月下旬にようやく認可がおりたことを受け、25日には SAXO BANK A/S による弊社の買収が完了しました。そして、経営陣が刷新され、翌26日から営業を再開する運びとなった次第です。

このような事情から、当期の実質的な営業活動期間は7月からの9ヶ月間であり、また、顧客数や預り資産はゼロという状態からの再開でもありました。ただ、カバー取引先である SAXO BANK A/S との収益分配に関する契約が変更されたことや、大口顧客の貢献もあって、主業務である FX (外国為替証拠金取引) に係る営業収入は288,116千円となりました。さらに、当期は FX 以外にも Saxo Bank Japan 株式会社から吸収した業務からの収益が加わっています。これは、SAXO BANK A/S が提供するサービス等を日本の金融商品取引業者に紹介して対価を得る業務ですが、兼業に関する承認申請を8月26日付で関東財務局に提出し、10月28日に承認を得ております。この兼業業務での営業収入が375,504千円あったことから、当社全体としての営業収入は663,620千円となりました。

一方、経費については販売費及び一般管理費が309,566千円と、前期に比べて若干ながら増加しています。その結果、営業利益は354,054千円、経常利益は354,166千円となりました。当期はリスタート後の1期目でしたが、概ね当初の見込みに即した結果であったと評価しております。

平成23年3月期については、有価証券 CFD の導入を予定しており、業務態勢の構築とビジネス規模の拡大が最大の課題となります。ただ、いたずらに組織を大きくして固定費が上昇することを避けるため、IT ソリューションの積極的な活用も重要と考えています。営業収入は807,184千円、営業利益は282,758千円、経常利益283,058千円を見込んでいます。また、将来的には取引高の増大に伴って取引先リスクや基礎リスクの上昇が予想されますが、当期末で552.4%だった自己資本規制比率を今後も高水準で維持するため、自己資本の増強が重要な課題になってくると認識しています。

## 2. 業務の適正を確保するための体制

### (1) 取締役および使用人の職務の執行が法令および定款に適合することを確保するための体制

当社はコンプライアンスを業務執行の最重要命題と認識し、基本的な行動の指針として「役職員行動規範」を制定しています。全役職員は、これにもとづいて法令や社会規範および社内規則を遵守し、倫理的な活動を行います。また、業務に関するより具体的な指針・規則として「倫理コード」「従業員服務規程」を定めています。

それらの遵守徹底を推進する方策としては、まずコンプライアンス委員会の設置をあげることができます。本委員会は、コンプライアンス意識の徹底・向上を進めるための教育活動を行うとともに、問題や課題を早期に発見して適切な対処を行えるよう、毎月1回定例の会合を行っています。さらには、委員長の招集により随時開催する体制を敷いています。

万が一コンプライアンス違反が発生した場合は、経営陣自ら問題解決にあたり、原因追及、再発防止に努めるとともに、必要に応じてコンプライアンス懲戒委員会に諮問し、責任を明確にした上で公正妥当な処分を行います。

上記のほか、管理部によるコンプライアンス関係の研修も実施されています。

### (2) 取締役の職務の執行に係る情報の保存および管理に関する体制

取締役の職務の執行に係る以下の情報については、文書または電磁的記録により適切に保存および管理を行っています。

株主総会議事録、取締役会議事録それらの関連資料

各種委員会その他重要会議の議事の経過およびその関連資料

代表取締役を決裁者とする稟議書およびその他重要な社内申請書類

会計帳簿、計算書類、重要な契約書、官公庁その他公的機関に提出した書類の写し

等その他重要文書

### (3) 損失の危険の管理に関する規程その他の体制

損失の危険（リスク）の管理については、「リスク管理に係る基本方針」を定めるとともに、リスクの種類に応じて対応を定めています。

財務上のリスクについては、金融商品取引法の規定ならびに「リスク管理規程」に基づき、毎営業日において把握しています。また、事務上のリスクについては、マニュアルを整備してコントロール機能を明確化しています。システムリスクについては「システムリスク管理規程」を定め、対策および問題発生時の対応を明確化しています。大規

模災害等のリスクについては、「事業継続に係る対策規程」を制定し、被害を最小限に食い止め利害関係者への影響を最小化するための方策を明確にしています。

(4) 取締役の職務の執行が効率的に行われることを確保するための体制

当社は取締役会を設け、定時取締役会を毎月1回開催し、臨時取締役会を必要に応じて随時開催しています。取締役会は、代表取締役および取締役の職務執行が効率的かつ適正に行われているかの監督を行います。

また、取締役会の意思決定機能を補完する制度として、稟議制度を構築しています。合議制による意思決定のもとでその迅速化を図るため、「稟議規程」に基づいて運営され、取締役会付議事項に次ぐ重要な決議事項の決済を行っています。

## 貸借対照表

平成22年3月31日現在

サクソバンクFX株式会社

(単位: 円)

資産の部		負債の部	
科 目	金 額	科 目	金 額
【流動資産】	【 955,286,598 】	【流動負債】	【 495,173,144 】
現金預金	466,033,322	その他未払金	8,923,482
金銭信託	360,000,000	営業未払金	761,600
カバー取引相手方差金	△ 22,707,853	関係会社未払金	27,100
関係会社未収入金	43,858,172	未払費用	2,320,256
その他未収入金	1,148,862	未払法人税等	153,062,500
前払費用	7,371,454	預り金	3,882,942
差入保証金	80,996,280	預り顧客証拠金	348,903,117
未収還付消費税	1,507,347	外国為替取引顧客差金	△ 22,707,853
繰延税金資産	11,726,613	負債の部合計	495,173,144
預託金	2,000,000	純資産の部	
仮払金	3,348,665	【株主資本】	【 515,753,968 】
未収収益	3,736	(資本金)	( 300,000,000 )
【固定資産】	【 55,640,514 】	(利益剰余金)	( 215,753,968 )
(有形固定資産)	( 30,941,149 )	その他利益剰余金	215,753,968
内部造作	16,226,652	繰越利益剰余金	215,753,968
器具備品	21,792,268	純資産の部合計	515,753,968
減価償却累計額	△ 7,077,771		
(無形固定資産)	( 2,385,808 )		
ソフトウェア	2,070,458		
商標権	315,350		
(投資その他の資産)	( 22,313,557 )		
長期前払費用	316,667		
敷金等	19,231,788		
繰延税金資産	2,665,102		
長期差入保証金	100,000		
資産の部合計	1,010,927,112	負債・純資産の部合計	1,010,927,112

## 損益計算書

自 平成21年4月1日 至平成22年3月31日

サクソバンクFX株式会社

(単位: 円)

科 目	金 額	
売上高		663,620,819
売上総利益		663,620,819
販売費及び一般管理費		309,702,107
営業利益		353,918,712
営業外収益		
受取利息	115,703	
雑収入	164,540	280,243
営業外費用		
雑損失	32,057	32,057
経常利益		354,166,898
税引前当期純利益		354,166,898
法人税、住民税及び事業税	150,821,981	
法人税等調整額	△2,531,782	148,290,199
当期純利益		205,876,699

## 株主資本等変動計算書

自 平成 21年 4月 1日 至平成 22年 3月 31日

サクソバンクFX株式会社

(単位：円)

	株主資本				純資産合計
	資本金	利益剰余金		株主資本合計	
		その他利益剰余金	利益剰余金 合計		
		繰越利益剰余金			
前期末残高	490,000,000	291,982,664	291,982,664	198,017,336	198,017,336
当期変動額					
新株の発行	100,000,000		-	100,000,000	100,000,000
資本金から剰余金への振替	290,000,000	290,000,000	290,000,000	-	-
過年度税効果調整額		11,859,933	11,859,933	11,859,933	11,859,933
当期純利益		205,876,699	205,876,699	205,876,699	205,876,699
当期変動額合計	190,000,000	507,736,632	507,736,632	317,736,632	317,736,632
当期末残高	300,000,000	215,753,968	215,753,968	515,753,968	515,753,968

## 個別注記表

### 1. 重要な会計方針に係る事項に関する注記

#### (1) デリバティブの評価基準及び評価方法

時価法を採用しております。

#### (2) 固定資産の減価償却方法

・有形固定資産…定率法によっております。

・無形固定資産…定額法（自社利用のソフトウェアは社内における利用可能期間（5年）に基づく定額法）によっております。

#### (3) 収益の計上基準

買付け又は売付けの取引成立時、転売又は買戻し及び受渡しによる決済時にそれぞれ手数料収益、またはスプレッド収益の発生を認識しております。

#### (4) 消費税等の会計処理

消費税及び地方消費税の会計処理は税抜方式によっております。

### 2. 株主資本等変動計算書に関する注記

#### (1) 当該事業年度の末日における発行済株式の数

当該事業年度の末日における発行済株式の数は、11,800株であります。

#### (2) 資本金の減少

平成21年6月26日に無償減資による欠損金の填補を行ないました。これに伴う発行済株式数の減少はありません。

・減少前の資本金	4億9千万円	・減少前の発行済株式数	9,800株
・減少する資本金	2億9千万円	・減少する発行済株式数	—株
・減少後の資本金	2億円	・減少後の発行済株式数	9,800株

#### (3) 資本金の増加

平成21年7月27日に資本金の増加を行いました。これに伴い発行済株式数が2,000株増加しております。

・増加前の資本金	2億円	・増加前の発行済株式数	9,800株
・増加する資本金	1億円	・増加する発行済株式数	2,000株
・増加後の資本金	3億円	・増加後の発行済株式数	11,800株

### 3. その他の注記

平成21年6月25日、当社の全株式が譲渡されたことにより、当社の親会社がアストマックス・プロップ・トレーダーズ株式会社からSaxo Bank A/Sに変更されました。これに伴い、商号をアストマックスFX株式会社からサクソバンクFX株式会社に変更し、休止しておりました営業を再開いたしました。

**販売費及び一般管理費の明細**

自 平成 21 年 4 月 1 日 至平成 22 年 3 月 31 日

サクソバンク F X 株式会社

(単位:円)

科目	金額	摘要
役員報酬	25,796,016	
給料手当	38,451,081	
賞与	9,431,192	
退職給付費用	353,817	
法定福利費	6,591,128	
福利厚生費	126,952	
報酬	19,111,911	
I R 関連費用	3,672,731	
業務委託料	2,316,434	
図書調査費	483,891	
事務用品費	1,851,273	
旅費交通費	3,085,468	
通信費	6,210,829	
接待交際費	1,495,234	
会議費	68,452	
広告宣伝費	56,462,434	
器具備品費	806,157	
水道光熱費	805,679	
地代家賃	17,183,596	
事務所維持費	475,118	
修繕費	50,000	
保険料	4,234,323	
教育訓練費	854,051	
電算機費	6,895,291	
租税公課	3,987,228	
賃借料	67,930	
諸会費	1,199,251	
減価償却費	6,768,173	
支払手数料	87,865,582	
銀行手数料	3,000,885	
合計	309,702,107	

## 有形固定資産及び無形固定資産の明細

自平成21年4月1日 至平成22年3月31日

サクソバンク FX 株式会社

(単位：円)

区分	資産の種類	期首帳簿価額	当期増加額	当期減少額	当期償却額	期末帳簿価額	償却累計額	期末取得原価
有形固定資産	内部造作	-	16,226,652	-	1,788,985	14,437,667	1,788,985	16,226,652
	器具備品	-	21,380,483	-	4,877,001	16,503,482	5,288,786	21,792,268
	計	-	37,607,135	-	6,665,986	30,941,149	7,077,771	38,018,920
無形固定資産	ソフトウェア	-	2,169,995	-	99,537	2,070,458	-	-
	商標権	-	318,000	-	2,650	315,350	-	-
	計	-	2,487,995	-	102,187	2,385,808	-	-

(注) 当期増減の主な内容

以下の資産の当期増加は、事業の譲り受けによるものである。

- (1) 内部造作・・・16,226,652円
- (2) 器具備品・・・17,928,474円
- (3) ソフトウェア・・・76,995円

**販売費及び一般管理費の明細**

自 平成 21 年 4 月 1 日 至平成 22 年 3 月 31 日

サクソバンク F X 株式会社

(単位:円)

科目	金額	摘要
役員報酬	25,796,016	
給料手当	38,451,081	
賞与	9,431,192	
退職給付費用	353,817	
法定福利費	6,591,128	
福利厚生費	126,952	
報酬	19,111,911	
I R 関連費用	3,672,731	
業務委託料	2,316,434	
図書調査費	483,891	
事務用品費	1,851,273	
旅費交通費	3,085,468	
通信費	6,210,829	
接待交際費	1,495,234	
会議費	68,452	
広告宣伝費	56,462,434	
器具備品費	806,157	
水道光熱費	805,679	
地代家賃	17,183,596	
事務所維持費	475,118	
修繕費	50,000	
保険料	4,234,323	
教育訓練費	854,051	
電算機費	6,895,291	
租税公課	3,987,228	
賃借料	67,930	
諸会費	1,199,251	
減価償却費	6,768,173	
支払手数料	87,865,582	
銀行手数料	3,000,885	
合計	309,702,107	

## 引当金の明細

自平成21年4月1日 至平成22年3月31日

サクソバンク FX 株式会社

(単位：円)

区分	期首残高	当期増加額	当期減少額		期末残高
			目的使用	その他	
賞与引当金	4,431,231	-	4,431,231	-	-

# 監査報告書

私たち監査役は、平成21年4月1日から平成22年3月31日までの第4期事業年度に係る計算書類及びその附属明細書を監査いたしました。その方法及び結果につき以下のとおり報告いたします。

## 1. 監査の方法及びその内容

監査役は、取締役及び使用人等と意思疎通を図り、情報の収集及び監査の環境の整備に努めるとともに、取締役会その他重要な会議に出席し、取締役及び使用人等からその職務の執行状況について報告を受け、必要に応じて説明を求め、重要な決裁書類等を閲覧し、会社の業務および財産の状況を調査いたしました。

以上の方法に基づき、当該事業年度に係る事業報告及びその附属明細書について検討いたしました。

さらに、会計帳簿またはこれに関する資料の調査を行い、当該事業年度に係る計算書類（貸借対照表、損益計算書、株主資本等変動計算書及び個別注記表）及びその附属明細書について検討いたしました。

## 2. 監査の結果

### (1) 事業報告等の監査結果

- ① 事業報告及びその附属明細書は、法令及び定款に従い、会社の状況を正しく示しているものと認めます。
- ② 取締役の職務の遂行に関する不正の行為又は法令もしくは定款に違反する重大な事実は認められません。

### (2) 計算書類及びその附属明細書の監査結果

計算書類及びその附属明細書は、会社の財産及び損益の状況をすべての重要な点において適正に表示しているものと認めます。

平成22年5月10日

サクソバンクFX株式会社

監査役 太田 将



以上